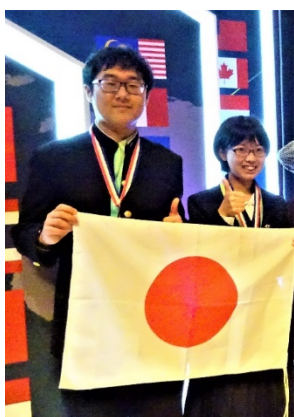


化学部門一等賞受賞！ – Taiwan International Science Fair –

- ◇ 期 日 令和2年2月3日(月)～2月7日(金)
- ◇ 場 所 National Taiwan Science Center(国立台湾科学教育館)
- ◇ 参加者 SS 化学部 森山 和(12H) 横山愛子(17H)
- ◇ 指導者 浮田直美先生

2月3日(月)から2月7日(金)に台湾の国立台湾科学教育館で開催された、Taiwan International Science Fairに参加した。台湾を含めて世界中から14の国々が参加、日本からは本校と福島成蹊高校の2校が出場した。私たちは化学部門で「The change in NaCl crystals from cubic to octahedral」の研究発表を行った。

大会初日は展示の準備や Welcome party が行われた。台北市立建国高級中学の高校生にもたくさん手伝ってもらいながら、何とか準備を終えた。Welcome party では日本や富山を紹介する機会もあり、楽しい時を過ごした。



2日目は開会式があり、Icebreaker event という、台湾の高校生が運営するイベントも行われた。10人くらいのグループごとでミニゲームなどを行い、勝敗を競った。皆とても親切で、内容がわからずきょんとしていると、英語をわかりやすく言い換えて教えてくれた。イベント後に展示の審査で不備が見つかり、残念ではあったが塩の結晶を撤去し、予備に持っていった模型を準備して対応した。

3日目はいよいよ審査があった。緊張したが、審査員の先生方はとても興味をもって聞いてもらえたように感じ、嬉しかった。発表の後には、他国の人々との交流が積極的に行われた。4日目には一般公開があり、台湾の方々もたくさん見に来てくれた。台湾からの参加者の中には何年間

も研究を続けているという方もいたので驚いた。説明の際はパソコンでモデルを示したり、実際に装置を見せたりしているチームがあり、わかりやすかった。発表の中では聞き手に英語でうまく伝わらないと台湾の高校生が横で中国語に翻訳してくれた。

最終日に表彰式が行われた。部門ごとに受賞者が発表され、ついに化学分野の一等賞が読み上げられた。自分たちではなかったため残念に思っていたところ、直後に“From Japan!”と呼ばれた。なんと、化学の一等賞は2チームあったのだ。大変うれしかった。他の部門の受賞発表では一等賞の該当なしや四等賞があるなどまちまちだった。日本から参加の1チームも別の部門で賞をとり、皆で喜びあった。

今回の大会を通して様々な人と出会うことができた。ハプニングもあったが、新たな発見も数多くあった。この貴重な経験を生かして、これからも研究を続けていきたい。

